

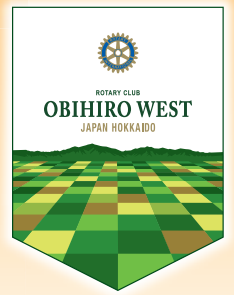


帯広西ロータリークラブ

第2030回例会

会報

2014.2.6



■RI第2500地区テーマ■

「讚えよう地域を!クラブを!会員(自分も)を!
ロータリーとの出会いに感謝!



■クラブ・テーマ■

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」
(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

ゲスト紹介

発達ひろば 代表 三浦 潤一 様
RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 関口 好文 様
IM実行委員長 夷石 行夫 様
セクレタリー 関口 亘 様

米山記念奨学生

カミングキード, キャサリン 様

2月結婚祝

親睦活動委員会 上垣香世子会員

横山 明美 会員 (1971.2.3)、古田 敦則 会員 (1988.2.14)、飯田 正行 会員 (1989.2.11)、北川 勝啓 会員 (1993.2.28)、久保忠正会員 (2006.2.4)



2月誕生祝

久保忠正会員 (1940.2.12)、三野宮 功 会員 (1951.2.15)、田中利昭会員 (1952.2.17)、江口文隆 会員 (1956.2.18)、小谷典之会員 (1962.2.20)、萱場 誠一会員 (1963.2.10)、米田慶司会員 (1974.2.21)

会長報告

齊藤憲生会長

皆さん、こんにちは。会長報告を致します。2月に入り最初の例会です。

月曜日に節分という事で豆まきをしましたが、この節分を調べてみますと、「季節を分ける」と言う事で、1年を分けて、立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分と言ったそうです。江戸時代以降から、立春の前日を節分と言い2月4日が節分でした。今は2月3日が節分ですが、2025年、11年後には2月2日が節分になるそうです。

さて漢字は時と共に、時代の要望で変わっていきます。

私は歯医者ですが、ある時から、「虫歯」と言う漢字が、歯の中に虫がいる様でおかしいということで「むし歯」を使用する様になりました。それから「歯周病」、昔は「歯槽膿漏」と言う言い方をしていました。膿漏、膿が漏れる、イメージが悪いと言う事で、今は「歯周病」と言う使い方をします。

「癩(らい)病」、これも差別用語と言う事で、「ハンセン氏病」から「ハンセン病」に、もう一つ、認知症、昔は痴呆症と言われていました。痴呆、何かアホを連想すると言う事で、認知症と言う言い方をします。認知症、全

国で約250万人、昔より患者数が増えています。平均年齢が延びてきて、以前なら発症前に亡くなっていたのが、寿命が延び、発症する数が増えたと言われています。

そして今日、お見えになっている「発達ひろば三浦潤一様」の関係で、「障害者」、害、何か害虫とイメージがあると言う事で、今は「障がい者」と表記されます。

今日の卓話の中でも出てくると思いますが、統合失調症、昔は精神分裂病と言われていました。何か精神が分裂、凄くイメージが悪いので、今は統合失調症と表記が変わりました。

その様な方は「ガラスの心」を持っていて、ほどよい距離感が必要と聞きます。否定とか批判の言葉を言わない、接する場合は、その辺がポイントです。認める所から始める、その辺りが卓話を聞くポイントです。この後は三浦さんに宜しくお願いして、会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

会務報告

奥田頼昌幹事

- ①・帯広南RC、2月10日(月)の例会は、休会と致します。
- ・帯広東RC、2月11日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。



- ②帯広5RC、芽室RC、音更RC、7RC合同例会開催のご案内

日時 2月12日(水)午前11時45分～

場所 ホテル日航ノースランド帯広

講師 大和教育研究所 所長 小田島裕一様

演題 国境を越えた人間作りから見える国際理解～スケジュール～

- ・11:45～ 会食
- ・12:15～ 例会
- ・12:40～13:20 講演
- ・13:30～ 例会終了

- ※尚、帯広西RCは、2月13日(木)の繰上げ例会と致します。
- 帯広北RCは、2月14日(金)の繰上げ例会と致します。
- 帯広南RCは、2月17日(月)の繰上げ例会と致します。
- 帯広東RCは、2月18日(火)の繰上げ例会と致します。

- ③帯広西RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 2月20日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

- ④帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内

2014年
2月

世界理解月間

ニコニコ
献金

累計

327,000 円 (2月6日現在)



会長 齊藤 憲生
幹事 奥田 頼昌

副会長 佐藤 聡
副会長 石原 英樹

会場監督理事 横田 幸宏
プログラム委員理事 太田 豊

発行：広報委員会
委員長 北川 勝啓 (副) 森 房明



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

日時 2月21日(金)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広

奥 敏則会員 じっちゃんになりそうです。
本日三浦潤様をお招きしての担当例会です。よろしくおねがいします。
堂山啓太会員 小学生の息子がミニバスケットボール少年団で十勝選抜に選ばれ来月北海道大会に出ます。応援に行ってきます。

ニコニコ献金

親睦活動委員会

茨木雅敏会員 私の次女と長男の各家庭に子が授かり、順調に行きますと、6月と8月に孫が生まれる予定です。遅ればせながら、

プログラム

社会奉仕委員長 奥委員長



皆さんこんにちは。社会奉仕委員会の奥です。今回で3回目の社会奉仕委員会の担当例会になりますが、本日は発達ひろば代表であられます三浦潤一さんをお迎えして、発達障害についてのお話をさせていただこうと考えております。

発達障害という最近になってよく聞く名前になってきましたが、かつて呼ばれていた自閉症とかアスペルガー症候群、学習障害などに類する脳機能障害の病気です。学校の先生などとお話をすると必ずこの発達障害の名前が出てきますが、文部省の発表によれば小学生児童の6.5パーセントが、ネットで調べれば10パーセントを超えるとも言われておりますが、相当高い確率で発達障害を持った子供がいるようです。それで、子供だけの病気のように思われますが、大人でも発達障害になっている方は、大変多くいらっしゃるそうです。こちらにいらっしゃる三浦さん自体、大学を卒業してこちらに就職をいたしました、36歳のときにうつ病になったのがきっかけで、ご本人が発達障害である事を告げられたということです。一見見ると何の障害も無いように思われますし、他の障害よりも新しい障害ですので、社会的な認知も進んでおりませんので、周囲の理解を得られず孤立状態にある方々がたくさんいらっしゃいます。三浦さんは、当事者になってみてその事をつくづく感じ、何とかしたいという思いから当事者・家族の悩みや苦勞を分かち合う為に発達ひろばを立ち上げたそうです。

この例会を通じて皆さんへ言っておきたいこととしてお話を伺うと、「発達障害は社会的弱者に通じる部分が大いなので、少しでも感じていただき、「超我の奉仕」で当事者の方々と一緒になってより良い地域づくりを目指していただけたら。」ということです。 それでは、三浦様よろしくお願い致します。

「発達障害について」 発達ひろば 代表 三浦 潤一様



みなさんこんにちは。発達障害者の地域の皆様をお手伝いしている「発達ひろば」を主催している三浦でございます。今日は皆様に貴重な時間を頂きお話しをさせて頂くということで非常に光栄に思っています。何か一つでも皆さんに感じていただければと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

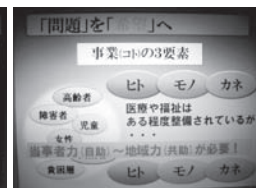
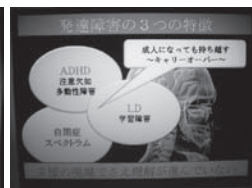
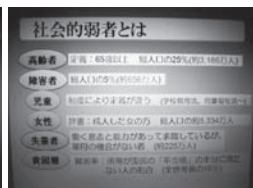
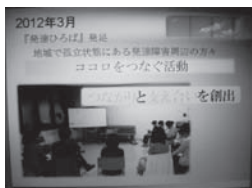
さて今日は社会的弱者ということで発達障害の面から考えられるのではということでお伝えしたいと思います。

私は39歳で出身は登別、妻、娘と3人で暮らしています。娘ができたことがきっかけに何か社会に貢献できることがないかということで「かな かな」というNPO法人を立ち上げました。その中で体験したことをもとに3つのテーマで本日は語りしたいと思います。

まず昨今、社会的弱者という言葉を目にしますがどういう人が対象かといいますと、雇用、就学の機会が不利な状況が創りだされる人や肉体的疾患を持っている人で、具体的には高齢者、児童、貧困層が社会的弱者になりえると考えられています。ただしこの日本全体で見ますと高齢者で人口の25%、障がい者で5%います。それに加えて児童、女性等を加えるとかなりの人が地域の中でストレスを抱えながら生活しているのです。そこでこの弱者に対して社会的サポートを考える必要があると思っていますがなかなかその仕組みが国には存在しないのが現状です。そこで発達障害の人は、先天的に脳の機能的障害を持っていますがその考え方や振る舞い方を変えることによって社会に適応していくことが可能です。そこで発達障がいの3つの特徴を述べさせていただきますと思います。

1つ目は自閉症スペクトラムという障がいの特徴です。主にコミュニケーション、人間関係で興味や行動の偏りによりコミュニケーションがうまくいかなかったり、一方的に話をしたり、人の目を見て話ができなかったりする特徴があります。2つ目はADHDという注意欠如性障害という問題行動を起こすことで、虐待、DV等もこれに当たります。3つ目はLDという学習障害です。読むことや書くことができなかったり、特定のことができないという障がいです。簡単な字が読めないとか字がながれるという症状があります。最近では大人になってもこの症状を持ち越しているケースが増えています。

そんな背景を含めまして今後社会的弱者の問題の解決は孤立の解消ということですので。その為社会的なつながりや支えあいの場を提供していきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



【お知らせ】

・2月のロータリーレートは、1ドル=102円です。理事会

※次週プログラム予定

2月12日(水)「7RC合同例会」ホテル日航ノースランド帯広
2/13(木)の繰上げ例会です。

国際奉仕委員会